



新たな教育のステージへ

設立から100余年。中央大学横浜山手中学校・高等学校は、
2013年4月1日をもって横浜市中区の山手の丘から港北ニュータウンの新校地に移転し、
校名を『中央大学附属横浜中学校・高等学校』と改め、
中央大学の4番目の附属校として、新たな教育のステージへ向かっています。



新たなスタートに向けて

横浜山手の丘で中央大学の附属校としての第一歩を踏み出した本校は、より優れた教育環境のもとで、中・高・大一貫教育の持つ更なる可能性を追求し、中央大学の基幹学生さらには次代の社会を担う有為な人材を育成するために、2013年4月から横浜市都筑区に移転し、中央大学附属横浜中学校・高等学校として新たなスタートを切ることになりました。

急激に変化していく社会の中で、高等教育における改革が叫ばれ、将来の社会を担い発展させることのできる人材を育成するための様々な試みが行われています。課題に主体的に取り組み、自分の頭で考え、判断し、自信を持って実行に移していくことのできる人材が求められているのです。このような能力を身に付け社会に貢献できる人材に育つためには、中学校・高等学校の段階で、将来どのような道に進むにせよ必要となる基礎知識、理解力、思考力、発信力を徹底的に身に付けることが重要です。本校は、生徒一人ひとりの資質、習熟度を見極め、きめ細かな指導を行うことで、このような、いつでもどこでも自分の助けとなる基本的な力の養成を全力で行います。時には効率よく学ぶだけでなく、試行錯誤しながら時間をかけて学ぶことも大切です。生徒の皆さんには、大学附属校の特長を最大限に活かし、自ら設定した課題に時間をかけて徹底的に取り組んでほしい。そして、学ぶことの難しさとそれを克服し次の学びのステージに到達できた時の喜びをできるだけ多く経験し、成長してほしいと思います。

社会で自分の資質・能力を活かして活躍するためには、豊富な知識や高い知性を身に付けるだけでは十分といえません。様々な困難を乗り越えることのできる体力や忍耐力、さらには然るべき社会性を身に付けることも必要です。自分を大切にすると同時に、他者に対する謙虚さを身に付けることも欠かせません。生徒の皆さんには、本校の新しいカリキュラム、新しい教育環境のもとで、授業、課外活動、学校行事を問わず学校生活のあらゆる局面で、元気な仲間たちと競い合い、協力し合いながら経験を積み、知力・体力・人徳をバランスよく磨いていってほしいと願っています。

本校は、創立以来100年余りの歴史を通して育んできた伝統を継承し、中央大学のみならず地域の期待にも応えることのできる中央大学4番目の附属校として、2014年度からは高等学校でも男女共学を開始し、本校が理想とする中高一貫教育の完成を目指して成長を続けます。自分の将来の可能性を信じ、向上心を持ち、自分の道を果敢に切り拓こうとする意欲のある皆さんの入学を心から歓迎します。



校長 三枝幸雄

(中央大学法学部教授)

PROFILE

千葉県出身

1972(昭和47)年3月 東京教育大学文学部文学科アメリカ文学専攻卒業

1978(昭和53)年3月 東京大学大学院人文科学研究科英語英文学専門課程
博士課程単位修得満期退学

1990(平成2)年4月 中央大学法学部教授(現在に至る)

2001(平成13)年11月 中央大学法学部学部長補佐(～2005(平成17)年10月)

2008(平成20)年4月 中央大学附属高等学校校長(～2013(平成25)年3月)

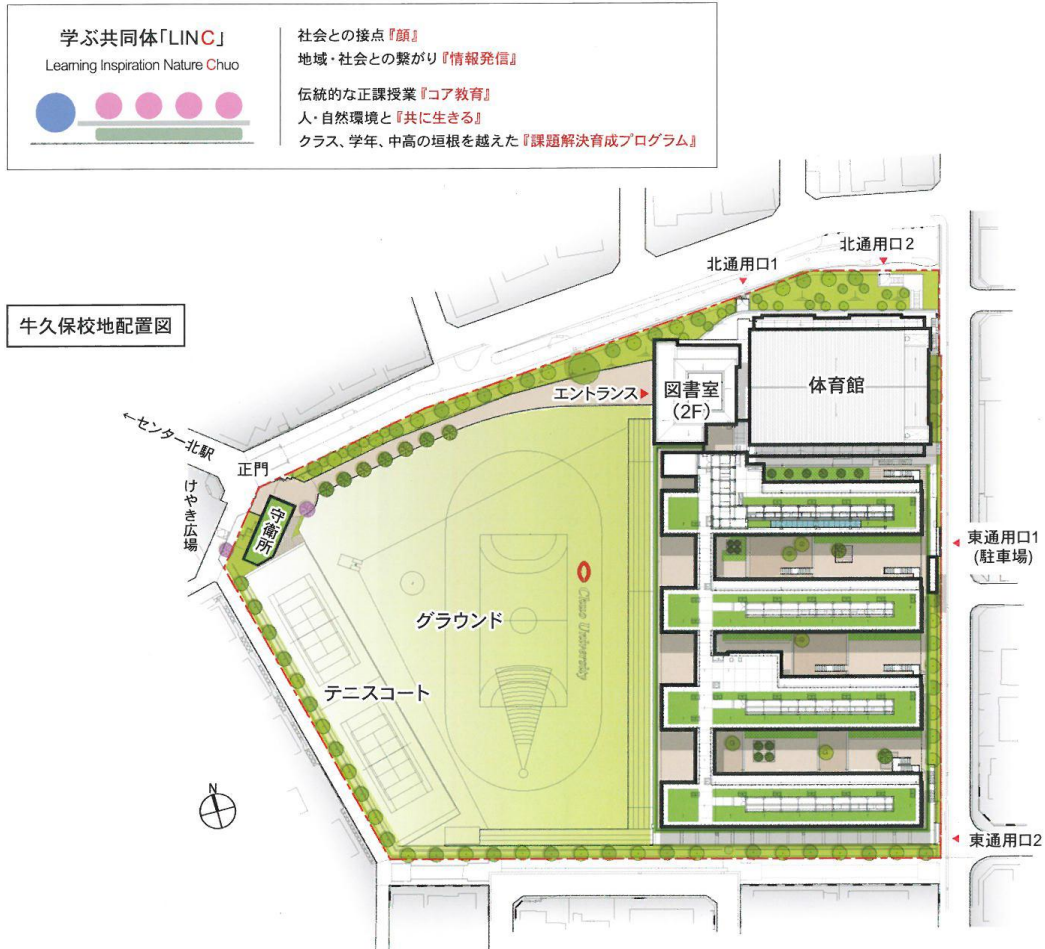
2010(平成22)年4月 中央大学附属中学校校長(～2013(平成25)年3月)

2012(平成24)年12月 中央大学横浜山手中学校・高等学校校長

2013(平成25)年4月 中央大学附属横浜中学校・高等学校校長

さまざまな個性がお互いに支え合い、切磋琢磨し合う場所

「人と人」、「人と環境」をつなぐ学び舎。それは本校がこだわり続ける、多様な個性がお互いに支え合う「学ぶ共同体」の象徴。自分と他者の存在を肯定し、自分の努力、創意工夫、向上心、仲間との切磋琢磨を通じて満足感や幸福感、そして生きていることに喜びや生きがいを感じることを追求すること。それらを実現できる場。生徒同士、生徒と教職員の交流はもちろん、地域、社会、身のまわりの自然環境とのつながりを感じながら、人間として大切なことを学んでいきます。

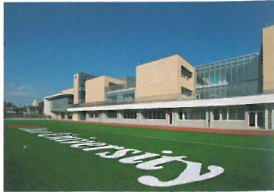


安全・安心の実現

生徒の活動を見守れるように死角のないように設計。手すりやガラスなど日常生活の安全にも配慮しています。また安全な避難ルート確保のため、階段や廊下を適切に配置。防犯カメラなどによるセキュリティの向上、敷地内の段差をなくすバリアフリーも実行しています。

環境との共生

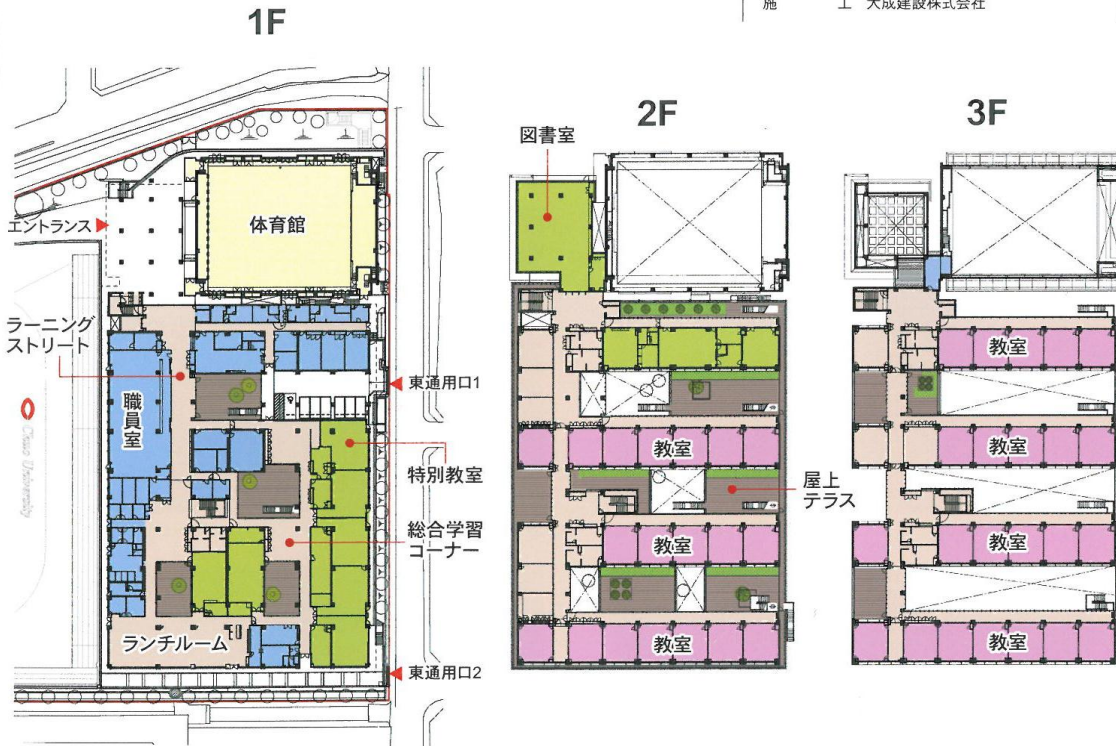
積極的な緑化により緑豊かな周辺環境との調和を図ります。また内部の素材には自然木を選定し、木のぬくもりや自然な色合いが感じられる設えとされています。近隣への視線や音の漏れにも配慮しています。



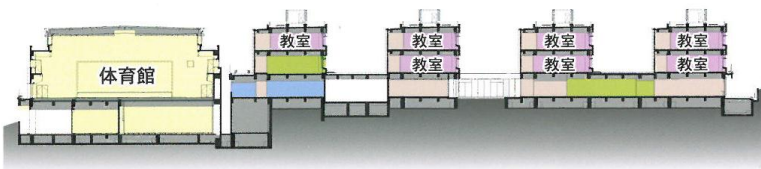
■所在地
〒224-8515
横浜市都筑区牛久保東1-14-1

■牛久保校地施設概要
敷地面積 17,747.73㎡
建築面積 6,740.33㎡
延床面積 14,959.49㎡
建築物の高さ 12.98m
構造 鉄筋コンクリート造
一部鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄骨造
階数 地下2階、地上3階
工期 平成23年11月1日～平成25年1月31日
設計監理 株式会社三菱地所設計
施工 大成建設株式会社

各階平面図



断面図



機能的なゾーン配置

教室	教室
特別教室	特別教室
管理諸室	管理諸室
体育館	体育館
共有部	共有部



生徒一人ひとりの「学び」を支える施設



ラーニングストリート



職員室



教室



教室前廊下



生物室



調理室



被服室



図書室



多目的ホール



総合学習コーナー A



総合学習コーナー B



ランチルーム



体育館(競技仕様)



体育館(講堂仕様)



武道場



茶道室

施設紹介 | 大柵グラウンド



■所在地

〒224-8515
横浜市都筑区大柵町字矢東110番地1

■大柵校地施設概要

敷地面積 10,895.51㎡
 建築面積 194.48㎡
 延床面積 569.22㎡
 建築物の高さ 11.88m
 構造 鉄筋コンクリート造
 階数 地上3階
 工期 平成23年11月1日～平成25年1月31日
 設計監理 株式会社三菱地所設計
 施工 大成建設株式会社



グラウンド付属棟



グラウンド(付属棟より)



1Fエントランス



ミーティングルーム(3F)



グラウンド(西南側より)



グラウンド(南側より)



生徒用ロッカールーム(1F)



階段室

